

# 第 14 回 宮津まちづくり会議 報告

日時：平成 29 年 6 月 21 日（水）13：30～15：00

場所：宮津商工会議所 大会議室

## 1 報告事項

### (1) 委員の変更について

→公共交通事業者、地域団体の変更について了承

## 2 協議事項

### (1) 平成 28 年度事業報告（案）について〔資料 1〕

→特段意見なし、承認

### (2) 平成 29 年度事業計画（案）について〔資料 2〕

→特段意見なし、承認

## 3 パイロット事業施設等（会議所事業）の進捗状況について（報告者：ハマカゼプロジェクト（株））

### (1) 「道の駅」空きスペースにおける飲食店の新設

- ・「海の京都の台所」をコンセプトに、宮津産を中心として丹後エリアの旬の食材を提供し、「買う」「食べる」「体験する」が一体となって提供できる店舗とする。
- ・店舗名：おさかなキッチンみやづ
- ・開業予定：平成 29 年 8 月中旬以降

### (2) 観光交流センター浜町立体駐車場空店舗におけるシェアスペースとしての活用

- ・「シェアキッチン」として、日替わりで希望者に貸出し「つながり」を生み出すことや、宮津の食文化や新たなビジネスが発信される場所とする。
- ・店舗名：Space HAMAKAZE
- ・開業予定：平成 29 年 7 月 1 日

## 【質疑応答】

- 新店舗の営業時間予定は？  
→現段階では朝 10 時から夜 11 時までとし、道の駅という性質上、年中無休で営業したいと考えている。ただ営業していく中で客足の状況によっては、休日の夜営業のみ定休日を設ける等の可能性もある。
- 調理人は 1 人のみか？  
→スタッフは調理人を含めて 3 人おり、この 3 人については調理人が核となって調理もフロアもこなせるようにしたいと考えている。  
→パートスタッフの 1 人は栄養士の免許を持っており、メニューの一部の調理もお願いしたいと考えている。
- 年中無休であれば、スタッフのローテーションも十分に考慮すべきである。根性論だけで持続することは厳しい。  
→カフェ店長は、フードビジネスについて十分な経験を積んでおり、シフトの組み方や、従業員をいかに定着させるかなど、ノウハウはつかんでいる。
- 開業の時期について、7 月に建物の引き渡しを受けて、仮営業後、開業ということであるが、運営を請け負っているまごころ市との連携や、新店舗グランドオープン時の客足をまごころ市に流していく仕掛け等、どのように考えているか？  
→6 月からまごころ市の店長業務の委託を受け、店長が変わっている。もともと地元の大手スーパーの経験者であり、品ぞろえ等、スーパーのノウハウを取り入れ、より良い店づくりを考えている。  
→まごころ市との連携については、現状廃棄処分や農家に引き取ってもらっている売れ残りの野菜を新店舗で使用し有効活用することで、食材の仕入れ部分の連携を図ろうと考えている。  
→まごころ組合との調整は必要になるが、新店舗の夜営業と連動し、まごころ市の営業時間の延長も考えている。夕方の人通りを増やすことにより、新店舗とまごころ市での夜の賑わいづくりを考えている。
- 宮津ではステーキを提供する飲食店がない。新店舗で肉類のメニューを提供できないか？  
→特にシーフードのメニューに拘っているわけではなく、今後丹後フーズの生ハムやソーセージを使ったフードやローストビーフ丼等、肉類をメニューに取り入れることも考えている。
- 宮津へ訪れた方から、売り切れ等で宮津遺産に指定された商品を購入することができないという声を耳にする。新店舗ではこの点を解消してもらいたい。  
→宮津遺産の指定商品については農水商工関連連携会議との連携等で最優先での取り扱いを考えている。すでにまごころ市で取り扱っている商品もある。

- パッケージングされていないため購入しづらいという点もあるので、事業者と協力してその点についても取り組んでいきたいと考えている。
- 物販の部分については、まごころ市では取り扱えない地酒を新店舗で取り扱う等すみわけを図りたいと考えている。
- ・まごころ市ではトマトまつりや季節のイベント等が開催されているが、新店舗においてもイベント等は計画されているか？
  - 現段階ではまず新店舗を起動に乗せることを重点的に考えている。ただ今年度のグルメ合戦については連携も予定しており、今後も引き続き協力していきたいと考えている。
- ・接客においてスタッフの第一印象は重要だと思うが、スタッフの研修等においてその点はどのように考えているか？
  - 自らの経験上、接客において第一印象の大切さは痛感しており、スタッフの面接でもその点を重要視し、採用を行った。新店長も東京、名古屋、大阪と広域で接客経験があり、女性スタッフもはきはきと接客できるため、その点は十分対応できると考えている。

#### 4 その他

- ・各委員の所属団体においてのまちづくりに関する取組みの発表

(WILLER TRAINS(株))

- ・株式会社 KADOKAWA と WILLER 株式会社提携開始
- ・WILLER TRAINS と丹後王国「貨客混載事業」開始

(宮津商工会議所青年部)

- ・「第3回海の京都グルメ合戦」平成29年10月29日開催予定
- ・昨年の来場者1万人超えを目標にハマカゼプロジェクト(株)との連携を検討
- ・「ふゆ花火」「伊根のうめやーもん祭り」との連携を検討
- ・サントリー特別協賛による浜町活性化への取り組み実施

(宮津農水商工関連携会議)

- ・宮津の新定番カタログの作成
- ・Made in 宮津のお土産物づくり事業募集

(事務局)

- ・宮津まごころ市トマトまつり開催予定

## 5 顧問から

(今井会頭)

- ・現状、宮津で様々な取り組みがされているが、宮津まちづくり会議が優先的にやるべきことはパイロット事業が着実にスタートラインに立てるようサポートしていくことだと考えている。
- ・周辺地域の中心市街地と比較すると、本市の中心市街地は、浜町を上手く活用（点滴を打てば）すれば、元気になる可能性を有している唯一の市街地ではないかと感じている。
- ・宮津駅からも浜町方面へ歩いてもらう、サイクリングしてもらうような流れを作らなければならない。自転車を含む交通手段の改善等をしていかなければならない。またそれに伴ってつながっているようでつながっていない道路等、インフラ整備も必要である。
- ・今では道の駅＝郊外型・テーマパークのイメージが強いが、国交省が定義している道の駅では、地域活性化の観点でいくと、本市の道の駅は中心市街地のど真ん中に位置しており、道の駅周辺の施設、そして市街地全体を含めたすべてが道の駅であり、海の駅と考えている。地域の活性化のための道の駅という観点を忘れず、改善、改革を進めていかなければならない。

以上